

【表紙】

【提出書類】	臨時報告書
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2026年3月31日
【会社名】	扶桑薬品工業株式会社
【英訳名】	Fuso Pharmaceutical Industries, Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 戸 田 幹 雄
【本店の所在の場所】	大阪市中央区道修町一丁目7番10号 (上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っております。) 本店事務取扱場所 大阪市城東区森之宮二丁目3番11号
【電話番号】	06-6969-1131(代表)
【事務連絡者氏名】	上席執行役員 総務本部長総務部長(兼)経理部長 古 市 晴 彦
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋本町二丁目4番5号
【電話番号】	03-5203-7101(代表)
【事務連絡者氏名】	執行役員 営業本部東京第一支店長(兼)東京事務所長 田 島 潔
【縦覧に供する場所】	扶桑薬品工業株式会社 東京第一支店 (東京都中央区日本橋本町二丁目4番5号) 扶桑薬品工業株式会社 東京第三支店 (横浜市港北区新横浜三丁目19番地1号) 扶桑薬品工業株式会社 名古屋支店 (名古屋市中区丸の内三丁目17番13号) 株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

1【提出理由】

当社は2026年3月31日付の取締役会において、シンジケートローン契約（以下、「本契約」といいます。）の締結を決議いたしました。これに伴い財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生しましたので、金融商品取引法第24条の5第4項並びに企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号の規定に基づき本臨時報告書を提出するものであります。

2【報告内容】

(1) 当該事象の発生年月日

2026年3月31日

(2) 当該事象の内容

当社は、中期経営方針「FUSOビジョン2030 Next Stage」において、粉末型透析剤の製造ラインの新設及び大東工場の機能を移転集約することを目的として、岡山工場敷地内に第2製剤棟（仮称）を建設する計画（以下、「本計画」といいます。）を公表いたしました。患者数ベースでの透析剤国内シェア約50%を有する当社にとって、本計画は安定供給体制をより強固にするだけでなく、2030年度の目標である「シェア55%」達成に向けた最重要戦略と位置付けております。

本計画の資金調達については、資本効率や財務健全性を考慮し慎重に検討を重ねた結果、株式会社三井住友銀行をアレンジャーとするシンジケートローンによる調達を決定いたしました。なお、本契約はコミット型タームローンを基本とし、これに付随する保証スキーム等を含む契約となっております。

（本契約の概要）

契約形態	コミット型タームローン
組成金額	134億円
契約締結日	2026年3月31日
コミットメント期間	2026年9月30日～2029年2月15日
アレンジャー	株式会社三井住友銀行
参加金融機関	株式会社三井住友銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社りそな銀行、株式会社北陸銀行、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社中国銀行、株式会社常陽銀行、株式会社みずほ銀行

(3) 当該事象の損益に与える影響

本契約の締結が2026年3月期の業績に与える影響は軽微であります。